別記様式第１号の１（要領第３の１の(1)のア又はエに該当する事業対象者が申請する場合）（要領第３の１の(3)のイの②の資金を除く。）

年　　月　　日

全国木材協同組合連合会会長　殿

　　　　　　　　　　　　　住所又は所在地

　　　　　　　 名称

　　　　　　　　　 代表者名

林業施設整備等利子助成事業利子助成金交付申請書

　林業施設整備等利子助成事業利子助成金交付規程第２の１の規定に基づき、利子助成を受けたいので下記のとおり申請します。

記

１　事業活動の概要（設立年月日、従業員数、資本金、事業内容等）

２　木材の安定供給体制の構築に資する取組の概要

（１）木材の安定供給体制の構築に資する取組の内容

（２）対象資金に係る事業の概要

※　機械・設備を新たに導入する場合は、新たに導入する機械・設備、以前から保有している機械・設備及び作業システムの詳細を必ず記入願います。

（３）（２）の取組による効果

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 遂 行 状 況 | |
| 最新実績（　　　年度） | 目標（　　　年度） |
| ア．森林の取得  イ．林業機械、林産物の生産・加工・流通施設等の導入  ウ．事業用資産の分散防止  ①　森林  ②　林業機械　等 | 所有森林面積　　　　 ha  年間森林整備量 　　㎥（ha）  うち再造林面積　　　　　　ha  １．生産性  (㎥/人・日)  ２．売上総利益率  ％  □３．年間素材生産量（取扱量）  ㎥  □４．年間素材加工量（処理量）  ㎥  □５．年間製材品生産量  ㎥  □６．年間乾燥材生産量　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㎥  □７．年間チップ生産量　　　　　　t  □８．その他（　　　　　　　　）  ※１及び２は必須、３～８は１つ以上選択  ha  １．生産性  (㎥/人・日)  ２．売上総利益率  ％  □３．年間素材生産量（取扱量）  　㎥  □４．年間素材加工量（処理量）  ㎥  □５．年間製材品生産量  　 　 ㎥  □６．年間乾燥材生産量　 　　　　 ㎥  □７．年間チップ生産量 　　　　　 t  □８．その他（　　　　　　　　）  ※１及び２は必須、３～８は１つ以上選択 | 所有森林面積　　　　 ha  年間森林整備量 　　㎥（ha）  うち再造林面積　　　　　　ha  １．生産性  (㎥/人・日)  ２．売上総利益率  ％  □３．年間素材生産量（取扱量）  ㎥  □４．年間素材加工量（処理量）  ㎥  □５．年間製材品生産量  ㎥  □６．年間乾燥材生産量  ㎥  □７．年間チップ生産量　　　　　　t  □８．その他（　　　　　　　　）  ※１及び２は必須、３～８は１つ以上選択  ha  １．生産性  (㎥/人・日)  ２．売上総利益率  ％  □３．年間素材生産量（取扱量）  　㎥  □４．年間素材加工量（処理量）  ㎥  □５．年間製材品生産量  　　 　㎥  □６．年間乾燥材生産量　 　　　　　 ㎥  □７．年間チップ生産量 　　　　　　 t  □８．その他（　　　　　　　　）  ※１及び２は必須、３～８は１つ以上選択 |

（記載留意事項）

・対象資金（借入資金）について、ア、イ又はウのうち、該当する項目を記載する。

・項目欄のイ又はウの②の項目に該当する場合は、１及び２の指標は必ず記載し、３～８については取組による効果を最も表す指標を１つ選択し、チェック（☑）を入れ、数値を記載すること。なお、生産性の単位を(t/人・日)にする場合、その旨を明記すること。

　・項目欄のイ又はウの②の項目に該当する場合で、適当な指標がない場合は、「その他」の欄に具体的な指標を設定し、その数値及び単位を記載すること。

　・売上総利益率は、売上総利益÷売上高×１００で算出する。（青色申告の場合は、青色申告決算書の科目⑦（差引金額）と①（売上（収入）金額）から、白色申告の場合は、収支内訳書の科目⑩（差引金額）と④（収入金額　計）から算出する。）

・最新実績については、直近数か年の平均値でもよい。（例：令和４～６年度平均）

３　担当者

　　担当者氏名

　　連絡先　TEL：

FAX：

　　　　　　E－mail：

４　添付書類

・林業経営改善計画又は合理化計画の認定書及び計画書写し（要領第３の１の(1)のアに該当する者の場合）

記載例

・要領第５の２の(2)に定める作業の安全に関するチェックシート

・要領第５の２の(3)に定める環境負荷低減チェックシート（林業事業者等向け）又は環境負荷低減チェックシート（民間事業者等向け）

・対象資金の償還年次表の写し等融資内容が分かる書類

・上記２の（２）「対象資金に係る事業の概要」に係る資料（別紙参考様式）

・補助対象事業の場合は、補助事業に係る資料の写し

　（補助事業申請書、決定通知書など）

・直近の決算報告書（当期損失計上の場合は直近３か年分）及び事業報告書

（個人事業者の場合は、所得税及び復興特別所得税の確定申告書の写し及び所得税青色申告決算書の写し又は収支内訳書の写しなど）

・会社概要、パンフレットなど

・その他全木協連が必要と認めるもの

（注）

添付書類のうち直近（当期損失計上の場合は直近３か年分）の決算報告書、会社概要及びパンフレットについて、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURL を記載することにより当該資料の添付を省略することができる。

（別紙参考様式）

１　事業費の内訳　　　 　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業区分等 | 工種・施設・機械等区分 | 補助対象事業費 | | | | | | 補助対象外事業費 | | | 事業費計 |
| 国庫補助金 | 基金 | その他補助金 | 公庫資金 | その他 | 計 | 公庫資金 | その他 | 計 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

２　工種・施設・機械等の名称、構造規格・規模、金額等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工種・施設・機械等区分 | 工種・施設・機械等の内容 | | | 完成年月  （予定） | 添付資料 | |
| 工種・施設・機械等の名称 | 構造規格・規模 | 金額 | 資料番号 | 資料区分 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

別記様式第１号の１（要領第３の１の(1)のア又はエに該当する事業対象者が申請する場合）

ア又はエに該当する事業対象者（申請者）が、森林取得資金、農林漁業施設資金、林業構造改善事業推進資金又は相続等

に必要な資金による利子助成を希望される場合は、この様式（別記様式第１号の１）を使用して下さい。

アとエは、実施要領の１頁をご覧下さい。

記載例

林業施設整備等利子助成事業利子助成金交付申請書

１　事業活動の概要（設立年月日、従業員数、資本金、事業内容等）

(株)○○木材は、昭和50年４月１日に現在地において設立し、○年４月１日現在の従業員数は65名、資本金８千万円で、素材生産業、製材業を主体に事業展開している。(別添、決算報告書参照)

２　木材の安定供給体制の構築に資する取組の概要

　（１）木材の安定供給体制の構築に資する取組内容

　　　　・　森林取得、施業受託の集約化を図り、経営規模を拡大し、生産性の向上を図り、安定的な素材生産体制を目指す。

　　　　・　自社有林をはじめ他の森林所有者からの施業受託により、スギを中心とした地域材の供給に取り組んでいる。地域材の安定的な供給体制を構築するため、高性能林業機械等の導入等に取り組み、効率化、低コスト化を図り、取扱量の増大を指向。

　　　　・　消費者ニーズに対応する付加価値の高い製材品の生産・供給体制を築くため、加工施設及び乾燥施設の整備等に取り組んでいる。

（２）対象資金に係る事業の概要

ア　森林の取得

* 取得（予定）森林は、○○県○○村内において200ha、現況は、ヒノキ主体の人工林で林齢20～30年、総費用2,800万円、取得時期は○年９月（○年10月の予定）。（別添売買契約書参照）
* 取得（予定）森林の位置は、別紙、位置図（広域図面上での場所）、森林計画図などに明示。
* 〇年に皆伐、〇年に植栽（再造林）を行う予定。

イ　林業機械、林産物の生産・加工・流通施設等の導入

（実行体制、保有機械の状況、改善策等についてできるだけ詳細に記載のこと）

・ 現在、２班８人体制で、年間約１０，０００㎥の素材を生産。

今回の資金を活用し、最も機械化が遅れている伐倒作業にハーベスタ（又はフェラーバンチャ）２台を新たに導入する。また、老朽化したグラップル１台とフォワーダ１台についても更新することとし、生産量の増大、作業の安全性の向上等を図る。（別添、見積書、パンフレット等参照）

　　　　（施設の現状、問題点、改善策等についてできるだけ詳細に記載のこと）

・ 大径材に対応可能な自動製材システム、ギャングリッパー、乾燥機、４面鉋盤、グレーディングマシン、バイオマスボイラー等を備えた製材工場を新設し、資源の有効活用、多様な製品の生産、品質の向上等を図る。（別添、見積書、パンフレット等参照）

　　　ウ　事業用資産の分散防止

・相続により事業を継承することとなったが、他の相続権者から森林及び高

性能林業機械を取得し、経営を維持する。

取得内容は、下記のとおりであり、森林の位置等については別添位置図ほか資料参照。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 相手方 | 項　　目 | 数　量 | 総費用（千円） | 実施時期 |
| 日本二郎 | 森林 | 100ha | 10,000 | ○.7.15実施済 |
| 日本三郎 | ハーベスタ（○社製） | １台 | 18,000 | ○.7.1実施済 |
| 日本四郎 | 管理棟 | １棟 | 6,500 | ○.12目途に手続き中 |
| フォワーダ（〇社製） | １台 | 8,000 | ○.7.1実施済 |
| 計 |  |  | 42,500 |  |

　（３）（２）の取組による効果

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 最新実績（令和６年度） | 目標（令和１１年度） |
| ア．森林の取得  イ．林業機械、林産物の生産・加工・流通施設等の導入  ウ．事業用資産の分散防止  ①　森林  ②　林業機械等 | 所有森林面積　　　　 804 ha  （○○県○○市内 400ha、○○県○○町内 404ha）  年間森林整備量　 80 ㎥（ha）  うち再造林面積　　　　　0 ha  １．生産性  　　　　　　6.25(㎥/人・日)  ２．売上総利益率  22％  ☑ ３．年間素材生産量（取扱量）　　　10,000㎥  □４．年間素材加工量（処理量） ㎥  □５．年間製材品生産量  　 ㎥  □６．年間乾燥材生産量　　　　　㎥  □７．年間チップ生産量　　　　　t  □８．その他（　　　　　　 　）  ※１、２は必須、３～８は１つ以上選択  100 ha  １．生産性  　　　　　　　6.25(㎥/人・日)  ２．売上総利益率  　　　　　　　　　　　　　22％  ☑３．年間素材生産量~~（取扱量）~~  10,000㎥  □４．年間素材加工量（処理量）  ㎥  □５．年間製材品生産量  　　 　㎥  □６．乾燥材生産量  　　　　　 ㎥  □７．チップ生産量  　　　　 t  □８．その他（　　　　　 　　）  ※１及び２は必須、３～８は１つ以上選択 | 所有森林面積　　　 1,004 ha  (○○県○○市内 600ha、○○県○○町内 404ha）  年間森林整備量 110 ㎥（ha）  うち再造林面積 　　　　20 ha  １．生産性  　　　　　　　9.0(㎥/人・日)  ２．売上総利益率  30％  ☑３．年間素材生産量（取扱量）　　　　　　　　　14,400 ㎥  □４．年間素材加工量（処理量）  ㎥  □５．年間製材品生産量  　　 　㎥  □６．年間乾燥材生産量　　　　　 　　　　　　　　　　　　　㎥  □７．年間チップ生産量　　　　　　　　　　　　　　　　　　 t  □８．その他（　　　　　 　　）  ※１、２は必須、３～８は１つ以上選択  100 ha  １．生産性  　　　　　　9.0(㎥(t)/人・日)  ２．売上総利益率  　　　　　　　　　　　　 30％  ☑３．年間素材生産量~~（取扱量）~~  14,400㎥  □４．年間素材加工量（処理量）  ㎥  □５．年間製材品生産量  　 　㎥  □６．乾燥材生産量  　　　　 ㎥  □７．チップ生産量  　　　　　 t  □８．その他（　　　　 　　）※１及び２は必須、３～８は１つ以上選択 |

（記載留意事項）

・対象資金（借入資金）について、ア、イ又はウのうち、該当する項目を記載する。

　・項目欄のイ又はウの②の項目に該当する場合は、１及び２の指標は必ず記載し、３～８については取組による効果を最も表す指標を１つ選択し、チェック（☑）を入れ、数値 を記載すること。なお、生産性の単位を(t/人・日)にする場合、その旨を明記すること。

・項目欄のイ又はウの②の項目に該当する場合で、適当な指標がない場合は、「その他」の欄に具体的な指標を設定し、その数値及び単位を記載すること。

・売上総利益率は、売上総利益÷売上高×１００で算出する。（青色申告の場合は、青色申告決算書の科目⑦（差引金額）と①（売上（収入）金額）から、白色申告の場合は、収支内訳書の科目⑩（差引金額）と④（収入金額　計）から算出する。）

・最新実績については、直近数か年の平均値でもよい。（例：令和４～６年度平均）

３　担当者

　　（メールアドレスについても記載されるようお願いします。）

４　添付書類

　　（ご確認の上、添付漏れがないようにお願いします。）

（注）

　添付書類のうち直近（当期損失計上の場合は直近３か年分）の決算報告書、会社概要及びパンフレットについて、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURL を記載することにより当該資料の添付を省略することができる。

（別紙参考様式）記載例

１　事業費の内訳 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業区分等 | 工種・施設・機械等区分 | 補助対象事業費 | | | | | | 補助対象外事業費 | | | 事業費計 |
| 国庫補助金 | 基金 | その他補助金 | 公庫資金 | その他 | 計 | 公庫資金 | その他 | 計 |
| 林産物の加工施設整備 | 木材乾燥機 ２台 | 0 | 0 | 24,000,000 | 19,200,000 | 4,800,000 | 48,000,000 | 0 | 0 | 0 | 48,000,000 |
| ボイラー　２台 | 0 | 0 | 12,000,000 | 9,600,000 | 2,400,000 | 24,000,000 | 0 | 0 | 0 | 24,000,000 |
| 計 | 0 | 0 | 36,000,000 | 28,800,000 | 7,200,000 | 72,000,000 | 0 | 0 | 0 | 72,000,000 |

２　工種・施設・機械等の名称、構造規格・規模、金額等 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工種・施設・機械等区分 | 工種・施設・機械等の内容 | | | 完成年月  （予定） | 添付資料 | |
| 工種・施設・機械等の名称 | 構造規格・規模 | 金額 | 資料番号 | 資料区分 |
| 木材乾燥機 | 蒸気式乾燥室  　―内部送風機（ＩＦ）型 | ○○－△△型、乾燥室○○㎥、２台 | 48,000,000 | ○年○月 | ① | 見積書・パンフ |
|  |  |  |  |  |
|  | ・・・・ |  |  |  |
| 計 | ・・・・・・・・ |  |  |  |
| ボイラー | 木屑だき（　　Ｋｇ/ｈ）、　　２台 | 24,000,000 | ○年○月 | ② | 見積書・パンフ |
|  | ・・・・ |  |  |  |
| 計 | ・・・・・・・・ |  |  |  |
| 合計 | |  |  |  |  |